

# 腎臓内科

## 【スタッフ】

坂井 尚二      吉水 秋子      中村 亜輝子      浦江 憲吾

## 【概要】

スタッフは久留米大学腎臓内科の人事異動により、乙咩嵩臣医師が転任し、中村亜輝子医師が着任、診療は4名体制で継続しました。

診療活動は腎疾患を中心とした専門内科として診療活動を行っていますが、呼吸器内科など専門内科のない、また多臓器にわたる重症疾患や糖尿病など総合内科としての治療も多く担当しています。

日常診療だけでなく教育面では、研究会・学会での発表を積極的に行い、研修医の指導にも力を注いでいます。

糖尿病をはじめ生活習慣による疾患が増加しており、高齢社会を反映して高齢者の慢性腎不全が増加しています。そのため福祉介護支援の重要性が増し、腎代替療法の血液透析では福祉介護スタッフによる通院援助など、在宅治療である CAPD（腹膜透析）では訪問看護師の協力と多職種で連携し地域医療を支えています。慢性腎臓病（CKD）の治療については全身疾患の一環として診るよう心がけており、早期からの予防のためには、患者様やかかりつけ医への啓蒙活動も腎臓内科の重要な責務と考えており、病診連携に力を入れています。診療には看護師、臨床工学技士、栄養士などのコ・メディカルとの協力を密にして高品質な治療をめざして行っています。

平成 27 年 11 月に新館にオープンした透析センターでは、規模の拡大だけでなく設備更新を行い、個々の患者の病態に応じた治療ができるようにしています。入院・外来維持透析の他に、種々の分野で必要となる急性血液浄化療法に対しても透析センター並びに ICUにて積極的に対応しています。

## 【診療】

外来は週 4 日（火・水・金曜日午前、木曜日午前・午後）ですが、急性疾患や緊急時、院内外からの紹介には常時対応しています。

透析センターでは、32 床を月・水・金曜日に午前・午後の 2 クール、火・木・土曜日は午前みの 1 クールで運営し、常時約 90 人の患者様が血液透析を受けています。また総合病院としての使命で、他の透析施設からの各科に入院となる患者様は積極的に受け入れています。整形・脳疾患はもとより、心・下肢血管のインターベンション治療目的の循環器疾患の患者が増加しています。在宅治療である腹膜透析（CAPD）の導入も行っています。腎疾患はできるだけ腎生検を施行し、EBMに基づいて専門的治療を行うようにしています。IgA 腎症に対しては症例により治療法である扁桃腺摘出術ならびにステロイドパルス療法を積極的に行い腎炎の改善、寛解に取り組み、寛解例をはじめ良好な成績をあげています。遺伝性疾患である多発性嚢胞腎（PKD）も新たな薬物治療に取り組んでいます。腎不

全の予防や治療に密接な関連のある高血圧、心不全、糖尿病の治療は、専門医との連携をはかりながら特に食事治療の重要性を考え栄養指導、自己管理指導を保存期より積極的に行っています。患者様だけでなく紹介先の先生方の期待に応えるよう努めています。慢性腎臓病（CKD）の早期発見には、検診での尿異常など一般医と腎専門医との連携が必要であり、特に高齢者においては潜在的に腎機能低下を有しており、わずかな誘因で急速に腎機能低下を招く危険性があります。早期診断治療には、今後とも病診連携を深めて治療にあたっていく必要があると考えています。

【入院患者統計】（平成 28 年度）

病 名	慢性腎不全	122
	急性腎不全	16
	慢性腎炎・ネフローゼ症候群	30
	電解質異常	8
	尿路感染症	21
	心不全	26
	糖尿病・糖尿病腎症	14
	シャントトラブル	89
	呼吸器感染症	56
	その他	68
	総症例数	450
治 療	内シャント造設術	53
	CAPD手術	7
	PTA	68
	経皮的腎生検	7
	血漿交換療法	0
	血球成分除去療法	6
	腹水濾過濃縮再静注法	21
	持続的血液透析濾過	18
	総件数	180

【業績集】

<学会・研修会>

腎臓内科<sup>1)</sup> 眼科<sup>2)</sup> 臨床工学部<sup>3)</sup> 看護部<sup>4)</sup>

開催年月日	演 題 名	演 者	共同演者	学会名	場 所
2016.6.10 ～12	術後高眼圧症で透析管理に難渋した血液透析患者の一例	吉水秋子 <sup>1)</sup> (デジタルポスター)	登根慎二郎 <sup>2)</sup> 浦江憲吾 <sup>1)</sup> 乙咩崇生 <sup>1)</sup> 吉村潤子 <sup>1)</sup> 坂井尚二 <sup>1)</sup>	第 61 回日本透析医学会 学術集会総会	リーガロイヤルホテル大阪

開催年月日	演題名	演者	共同演者	学会名	場所
2016.6.10 ～12	上腸間膜動脈症候群を発症した血液透析患者の一例	浦江健吾 <sup>1)</sup> (デジタルポスター)	乙咩崇生 <sup>1)</sup> 吉水秋子 <sup>1)</sup> 吉村潤子 <sup>1)</sup> 坂井尚二 <sup>1)</sup>	第61回日本透析医学会 学術集会総会	リーガロイヤルホテル大阪
〃	FIX-210Seco を使用して痒みの改善を認めた一例	藤田 忍 <sup>3)</sup> (デジタルポスター)	前田友美 <sup>3)</sup> 鈴木雄揮 <sup>3)</sup> 鈴木あゆみ <sup>3)</sup> 佐々木毅 <sup>3)</sup> 乙咩崇生 <sup>1)</sup> 坂井尚二 <sup>1)</sup>	〃	〃
〃	透析センター全スタッフによる足回診の問題点に対する取り組み	村田由紀 <sup>4)</sup> (デジタルポスター)	松本和美 <sup>4)</sup> 市川智春 <sup>4)</sup> 松田愛子 <sup>4)</sup> 浦江憲吾 <sup>1)</sup> 乙咩崇生 <sup>1)</sup> 吉水秋子 <sup>1)</sup> 吉村潤子 <sup>1)</sup> 坂井尚二 <sup>1)</sup>	〃	〃
2016.7.19	特別講演「治療可能な先天性腎疾患」～常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)を9例治療してみた～	坂井尚二 <sup>1)</sup> (司会)		多発性嚢胞腎学術講演会	当院
2016.7.31	2部各論「感染症管理に関して」	中村亜輝子 <sup>1)</sup>		透析セミナーin 海峡メッセ下関 2016年	海峡メッセ下関
2016.8.26	特別講演「CKD診療の新たな展開～終末糖化産物 AGE の脅威～」	坂井尚二 <sup>1)</sup> (座長)		学術講演会	東京第一ホテル下関
2016.8.31	特別講演「降圧の質を考慮した慢性腎臓病(CKD)の血圧管理」	坂井尚二 <sup>1)</sup> (座長)		下関循環器カンファレンス	下関グランドホテル

開催年月日	演 題 名	演 者	共同演者	学会名	場 所
2016.9.8	～PAD 患者の肢を救うために～	坂井尚二 (総合司会)		下肢血管内治療セミナー	当院
2016.11.10	当院における水質管理の現況 (移設前後での比較)	佐々木毅 <sup>3)</sup>	若尾泰子 <sup>3)</sup> 藤田 忍 <sup>3)</sup> 前田友美 <sup>3)</sup> 鈴木雄揮 <sup>3)</sup> 坂井尚二 <sup>1)</sup>	山口県西部透析症例検討会	海峡メッセ下関